

生きる

菊池市立菊池北中学校 学校だより No.14

2026.7.17 文責 岩谷 寛

どうしてだろう・・・“不思議”と
感じる感性を大切に・・・



ZINIA

前期前半：苦労様でした！ — 夏休みは、たくさん “発見”をしてください～

前期前半が今日で無事終了です。三学期制だったころは、教室で通知表を受けとり帰る風景もありましたが、もう通分過去の話になってきました。4月8日に今年度がスタートし、まだ3ヶ月しかたっていないんですが、様々な行事を通して北中生活みんなが本当に成長したなと感じることが多かったです。そんな中でも個々にそれぞれの課題や反省すべきこともあったとあることでは。昔は通知表の担任所見に、ひびひりやふさふさ、ふらふらなど書いてもらいたいことと表示されていたが、そのよう振り返りがばいよいよ長期の休みが始まります。具体的に“自分は何ができていて、何ができていなかったのか”を振り返らせておかげで、夏休みの生活バリエーションが広がります。みんなにはぜひこの3ヶ月をふり返し、次の明確な目標を立てた上で夏休みを過ごしてほしいと思います。



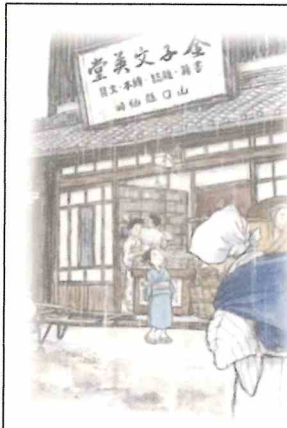
不思議を感じる感性を大切に

前期前半のめくくりの言葉とします。

以前紹介した“こぼれはよけ”の作者である金子みすゞさんの詩です。

“ふんは不思議でたまらない”この言葉が何度もうけられます。

雨はなぜ光るのだろう・・・
雲はなぜ白い糸をつくるのだろう・・・
夕顔は誰も見てはくても花を咲かせるのだろう・・・
そして最後に、“あたりをだ”と笑う人の不思議に気づきます。



不思議 金子みすゞ
私は不思議でたまらない
黒い雲から降る雨が
銀に光っていることが
私は不思議でたまらない
青い桑の葉食べている蚕が
白くなることを
私は不思議でたまらない
誰もいじらぬ夕顔が
ひとりではらりと開くのが
私は不思議でたまらない
誰に聞いても笑って
あたりまえだということが

自分自身の生活のあらうこちらに、そんな“あたりをだ”という言葉があらわれています。金子さんの詩から“あたりをだ”の中にたくさん不思議や感動があらわれていることに気づかれます。学校も同じですね。毎日友達と話せることや、先生方が授業してくれること、給食が食べられること、そして家に帰れば“お帰り”と言ってくれる人がいること。これ、本当にあたりをだのほうか…。夏休みは、学校を離れて過ごす時間が増えたりします。ぜひ、空を見あげたり、虫の声を聞いたり、星を眺めたりしながら、“どうしてだろう・・・”不思議だな、と思う心を大切にしてみてください。その“不思議”が、“新しい発見”につながります。その発見が、私たちの未来の強さのおもしろさにつながります。みんなの感じる“どうしてだろう・・・”が、みんなの心を豊かにし、自分らしく生きる力になっていきます。来年度夏休みも過ごしていただき、夏休み明け、また全員で元気に再会しましょう。この夏がみんなにとって“夢が広がる”、“感動に出会い”、“いのちが輝く夏”になることを願っています。前期前半本当にふかふかしました。苦労様!!

保護者の皆様へ

本当に深くそして充実した前期前半でした。泣いたり笑ったり、おどろいたり、ほめられたり、集中できたり、できなかったりしながら、多くのことを吸収し成長してきました。これから、北中生活と愛と情熱を育んでいきます。これから暑い夏が来るので、保護者の皆様も、お身体を自愛され、有意義な夏をお過ごしください。

【夏休みの主な行事】

- 7/26(日) 菊池っ子60運動フェスタ
- 7/30(木) 菊池市子ども議会
- 8/ 1(土) 吹奏楽部定期演奏会
- 8/12(水)～14(金) 学校閉庁日
- 8/18(火) 課題提出日
- 8/22(土) 愛校作業
- 8/25(火) 前期後半開始日